



福たん通信

第 6 号

令和6年8月28日



交通安全運動への「西部会」の取組・紹介

令和6年8月26日の10:00~12:00の間、西区の姪浜ドライビングスクールで、「タクシー乗務員による飲酒運転通報訓練等」に西部会会員（乗務員）が参加しました。

これは毎年8月25日の「飲酒運転0の日」にちなみ、早良警察署の企画に西部会が協力・参加したものです。西部会会員が部会長以下41名、早良署員が署長以下10名、その他報道機関6名（TNC4、読売・西日本新聞各1）に同ドライビングスクールの校長以下3名の職員、総勢60名が参加し、飲酒運転車両をタクシー乗務員が発見した際の110番通報要領の訓練、実際に飲酒し、酒気帯び運転の基準値「呼気0.15mg/l」の数倍の飲酒（被験者4名の数値0.5~0.9mg/lの酪酊）状態で、8の字走行、S字クラック、車幅よりやや広めにパイロンを置いての通過・停止等を実際に運転したのですが、パイロンに接触したり、停止線をオーバーしたりと、飲酒の影響を身をもって体験したようです。タクシー乗務員の皆さんは、絶対に飲酒運転をしないとの誓いを立て、安全で快適なお客様輸送をお願いいたします。【終】